

令和5年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立道塚小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・展覧会を目標として、作品を完成する喜びを味わい創造的につくったり、表したりすることができた。
- ・様々な素材に触れさせたことで、新しい発想や構想を生み出すきっかけになった。
- ・鑑賞では、自分や友達作品、身近な美術作品について言語化することで、学びを深めることができるようになった。また、展覧会を通して自分の作品を振り返ることもできた。

(2) 課題

- ・発想する力は身につけているが、発想したイメージに対して知識・技能の習得が十分ではないため、作業が滞ってしまうことがある。作品を完成させようという意識が高まってきたが、完成に向けての見通しが持てないことが多い。そのため、基礎的な用具・材料の使い方を段階的に身に付けさせると共に、制作過程や本時の目標を意識させるような授業を行う必要がある。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| 手や体全体の感覚などを働かせ、身近な材料の特徴を生かして、材料や用具を使う活動を工夫する。 | 児童が楽しく発想や構想ができるよう、児童が見付けたことや方法を試すことができる環境を用意する。 | 児童の活動を認め、楽しく活動ができるように励まし、つくりだす喜びを味わえるようにする。 |

(2) 中学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| 用具の正しい扱い方を身に付け、用具や材料を場面に応じて適切に扱えるようにする。 | 一つの題材において様々な表現方法を紹介することで、豊かに発想や構想を広げられるようにする。 | 進んで表現出来るよう、題材や材料を工夫し、作品に愛着を持ち、完成させる喜びを味わい、豊かに創造する態度を養う。 |

(3) 高学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| 前学年までの材料や用具についての経験を生かし、用途を考えながら、表現に適した方法を考えてつくる。 | 前学年までの経験を生かし、発想・構想、表現方法の工夫をし、創造的に作品づくりができるよう、イメージを持たせる。 | 題材に関心を持たせ、児童が自ら活動できるような授業展開を目指し、自分の作品に思いをもって主体的に活動できるようにする。 |